

# 1 基本方針

平成30年度の本市の財政状況につきましては、歳入の根幹である市税が、前年度と比べほぼ横ばいとなる見込みであり、依然として財源不足を基金繰入金や地方交付税、臨時財政対策債などに頼らざるを得ません。

また、歳出においては、障害者自立支援給付等事業の利用者増に伴う増額に加え、新たな保育所の開設や地域型保育、放課後児童対策など子育て施策の充実も図る必要があることから、社会保障経費に充てる一般財源負担の増加が避けられない状況となっています。

さらに、平成31年度完了予定の一本松地区、若葉駅西口地区の両土地区画整理事業、一本松地区地区計画住環境整備事業のほか、農業大学校跡地周辺の道路整備などの大規模事業も同時に進めていかなければなりません。

本市では、高齢化の急速な進行と生産年齢人口及び年少人口の減少、それに伴う地域活力の低下などへの対応が最重要課題です。

このため、第5次鶴ヶ島市総合計画「後期基本計画」のリーディングプロジェクトと「鶴ヶ島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、「安心して暮らせるまちづくり」、「元気で暮らせるまちづくり」を更に前進させるための取組に、重点を置いた予算編成を行いました。

これらの取組を推進し、市民が安心して暮らし、鶴ヶ島の将来を子ども達に託せる市政の実現に向け、各事業を実施していきます。

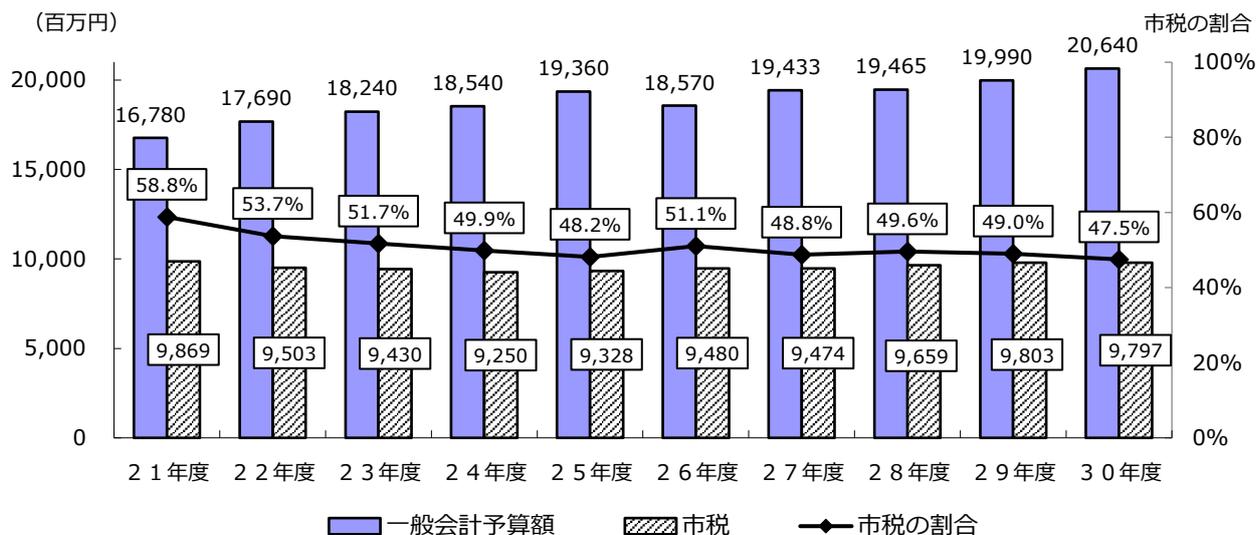
# 2 予算規模

(単位 千円)

会 計 名	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較増減		
			増減額	増減率	
一 般 会 計	20,640,000	19,990,000	650,000	3.3 %	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	7,039,254	8,910,273	△ 1,871,019	△ 21.0 %
	後 期 高 齢 者 医 療	704,371	629,979	74,392	11.8 %
	介 護 保 険	3,862,431	4,293,874	△ 431,443	△ 10.0 %
	一 本 松 土 地 区 画 整 理 事 業	278,971	482,048	△ 203,077	△ 42.1 %
	若 葉 駅 西 口 土 地 区 画 整 理 事 業	432,244	369,045	63,199	17.1 %
	合 計	12,317,271	14,685,219	△ 2,367,948	△ 16.1 %
全 会 計 合 計	32,957,271	34,675,219	△ 1,717,948	△ 5.0 %	
全 会 計 純 計 ※	31,453,600	32,941,337	△ 1,487,737	△ 4.5 %	

※全会計を合わせた市全体の予算規模については、実質的な予算規模を表すため、全会計で相互にやりとりする重複部分を除いた純計で表しています。

## 一般会計予算額及び市税の推移



### 【一般会計の主な増減要因】

#### 増要因

- 道水路整備事業
- 障害者自立支援給付等事業
- 防災行政無線デジタル化推進事業
- 民間保育所運営支援事業

#### 減要因

- 一本松土地区画整理事業特別会計繰出金
- ふるさと振興発信事業
- 介護保険特別会計繰出金
- 一本松地区地区計画住環境整備事業

## 3 一部事務組合負担金

(単位 千円)

一部事務組合名	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較増減	
			増減額	増減率
広域静苑組合	62,192	24,435	37,757	154.5%
坂戸、鶴ヶ島水道企業団	1,214	1,212	2	0.2%
埼玉西部環境保全組合	712,534	711,302	1,232	0.2%
坂戸地区衛生組合	47,029	47,424	△395	△0.8%
坂戸、鶴ヶ島下水道組合 ※大谷川浸水対策事業を含む	477,083	433,110	43,973	10.2%
坂戸・鶴ヶ島消防組合	966,961	966,023	938	0.1%
合 計	2,267,013	2,183,506	83,507	3.8%